

2001年第14週報告分

- 発生動向総覧/調査票通信/保健所通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾患集計表
- 疾病別グラフ
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表

感染症トピックス

- 破傷風菌について

2001年3月報告分

- 発生動向総覧/調査票通信
- 疾病別グラフ
- 定点報告疾患集計表
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 医療圏別累計表

感染症豆知識

- ウイルス性胃腸炎

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/

(全数情報)

- ・細菌性赤痢 1 件の菌型はソルネで、フィリピンでの感染が推定されている。
- ・腸管出血性大腸菌感染症 3 件はいずれも国内発生の患者で、O157 VT1 + VT2であった。
1 件は食品からの感染が推定され、現在調査中である。
- ・アメーバ赤痢 2 件のうち 1 件は肝膿瘍を伴い、推定感染地はタイ、ラオス、カンボジアである。
他の 1 件は国内発生で感染源は不明である。
- ・急性ウイルス肝炎は A 型 1 件で、カキからの国内感染が推定されている。
- ・HIV 感染症の届出は 12 件で、無症候性キャリア 8 件、AIDS 4 件である。推定される感染経路は異性間性的接触 3 件、同性間性的接触 8 件、不明 1 件であった。
- ・マラリアは 2 件で三日熱 1 件(推定感染地インド)と熱帯熱 1 件(推定感染地マラウイ)であった。
- ・クリプトスポリジウム症は 1 件で、国内感染が推定されている。
- ・破傷風は 1 件で、庭仕事の際に指の傷から感染したことが疑われている。
- ・レジオネラ症は 1 件で、尿中のレジオネラ抗原が陽性であった。山梨県の温泉への旅行歴がある。
(推定される感染地域は、医師の届出によるものです。)

(定点情報)

- ・インフルエンザは更に減少し定点あたり 1.38 である。
- ・流行性耳下腺炎、伝染性紅斑の報告が多い。
- ・多摩地区の 2 定点から麻疹が各 4 件報告されている。

(病原体情報)

- ・定点病院から搬入された溶血性レンサ球菌菌株は T-25 型で、MRSA 3 株はコアグラ - ゼ 型であった。
- ・インフルエンザ、上気道炎の患者 9 名のうち 7 名の咽頭拭い液からインフルエンザウイルス (A 香港型 3 件、B 型 4 件) が、うち 1 名からは同時にアデノウイルスが検出された。また、インフルエンザウイルスの検出されなかった 2 名からアデノウイルスが検出されている。
- ・咽頭結膜熱患者の眼拭い液と咽頭拭い液からアデノウイルスが検出されている。
- ・流行性耳下腺炎患者の髄液からムンプスウイルスが検出されている。
- ・麻疹患者の咽頭拭い液から麻疹ウイルスが検出されている。
- ・感染性胃腸炎の集団発生の検体搬入はなかった。

- ・多摩支所に搬入された感染性胃腸炎の4名のうち1名からロタウイルスが、1名から病原性大腸菌O128が検出された。
- ・多摩支所に搬入されたインフルエンザ疑い患者の咽頭拭い液5件はいずれもインフルエンザウイルス陰性であった。

(その他の情報)

今冬季都立衛生研究所の検査で検出されたインフルエンザウイルスは、感染症発生動向調査定点からは117件で、その内訳はAソ連型(AH1)39件、A香港型(AH3)23件、B型55件である。このうち脳症からはA香港型が2件、Aソ連型が5件、B型が4件検出されている。また髄膜炎、脳症などの患者8名の髄液からAソ連型、B型各4件が検出されている。

上下気道炎・インフルエンザの検体が約40%を占め、その他、脳神経疾患、胃腸炎、発疹性疾患などの検体が搬入されている。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

調布市

成人のインフルエンザ様疾患が散発的にみられるようです。(職場での感染とのこと)

保健所通信

区・都保健所からのコメントを掲載

府中小金井保健所

流行性耳下腺炎は、同一医療機関から7例の報告がありました。年齢は2歳～9歳で、いずれも散発例ですが、小流行が続いています。

全数届出患者数一覧表 2001年14週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		11週	12週	13週	14週	14週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ-ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	コレラ	1				
	細菌性赤痢	4	1	3	1	14
	腸チフス					
	パラチフス					
	急性灰白髄炎					
	ジフテリア					
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	6	3	3	92
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢	9	1		2	3
	エキノコックス症					
	黄熱					
	オウム病					
	回歸熱					
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)			5	1	5
	Q熱					
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症				1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病					1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					
	後天性免疫不全症候群	7	6	7	12	5
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症	1	2	1		2
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎					
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病					
	デング熱					
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ボツリヌス症					
	梅毒	5	3	1		3
	破傷風				1	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		1
	ハンタウイルス肺症候群					
Bウイルス病						
ブルセラ症						
発疹チフス						
マラリア		1	2	2	1	
ライム病						
レジオネラ症				1		

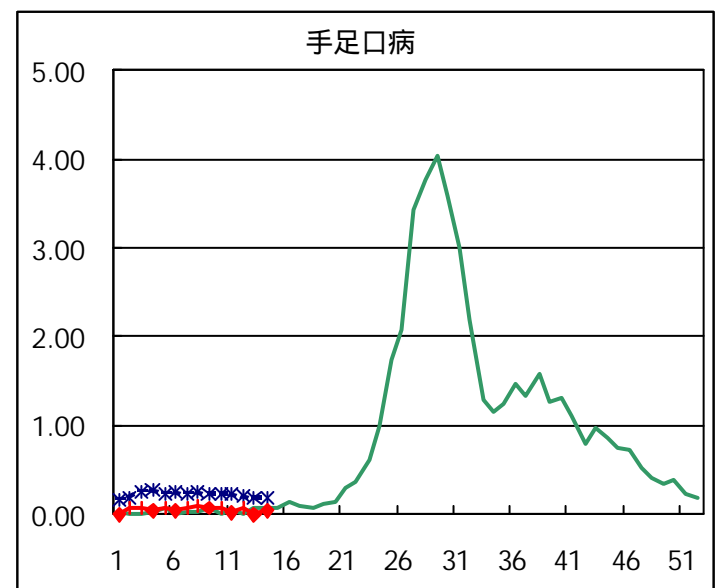
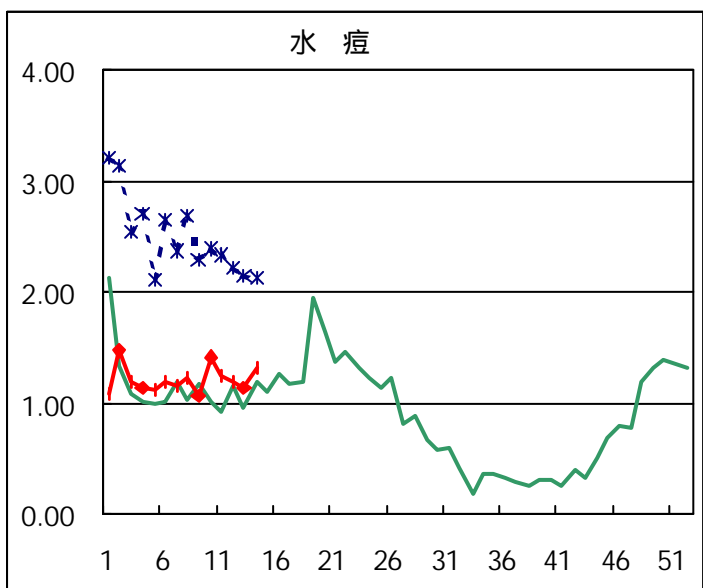
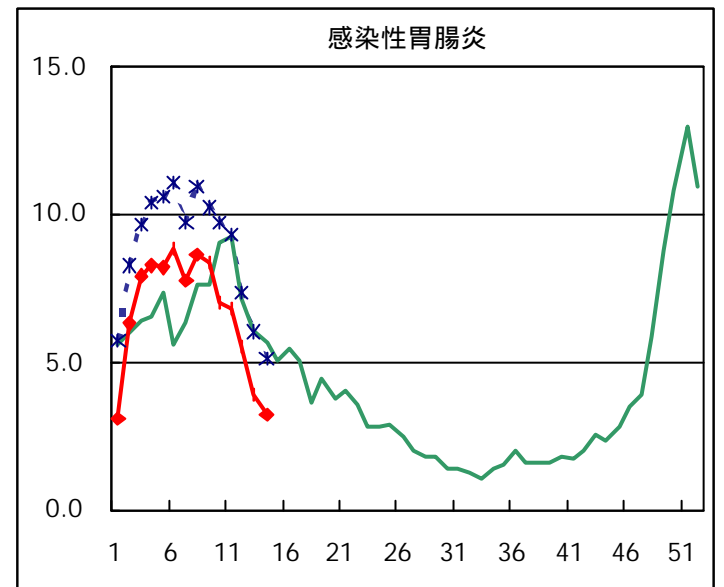
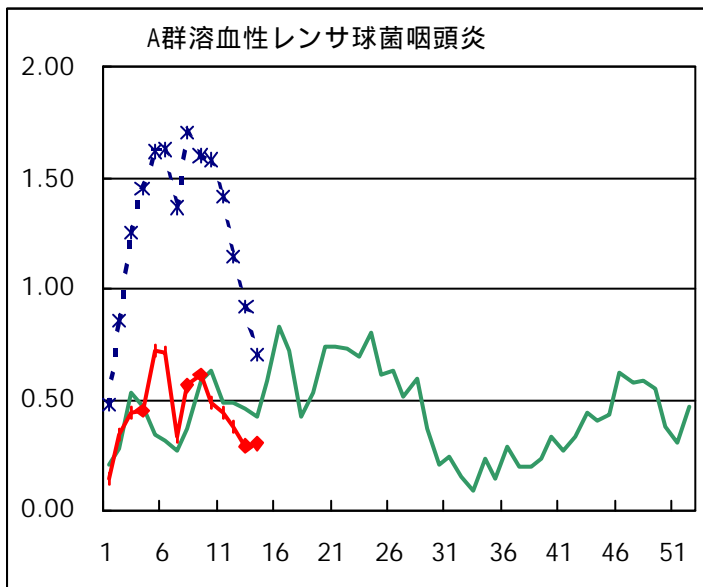
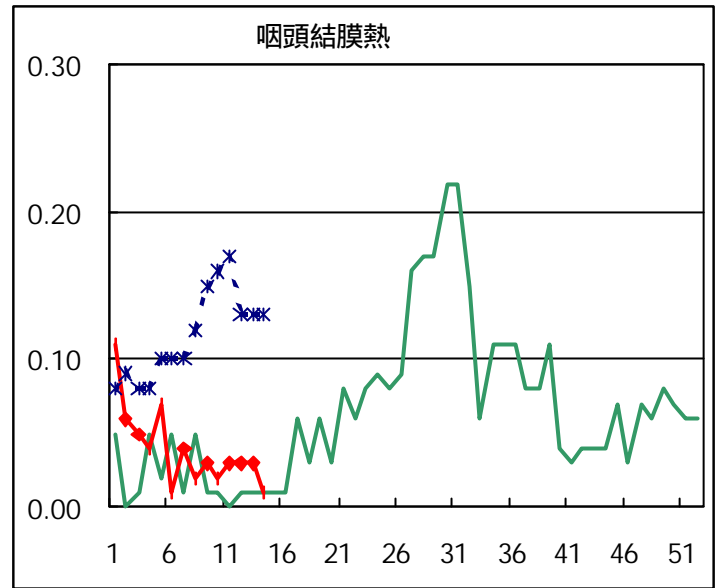
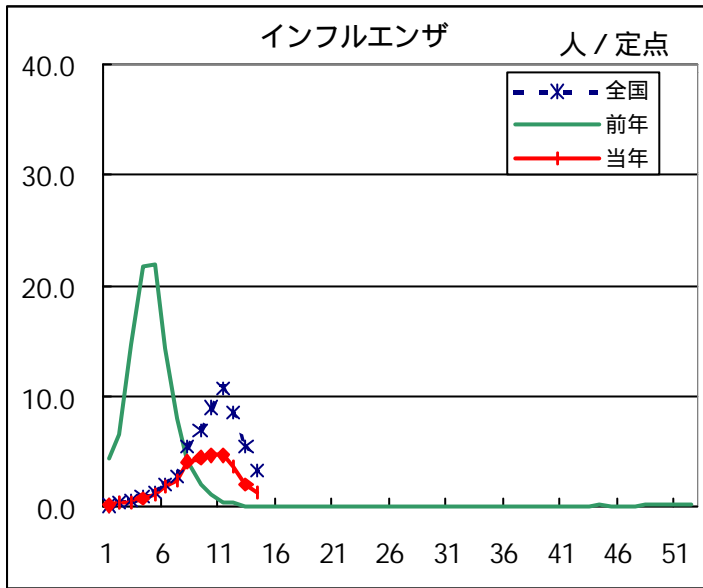
東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(2001/04/12集計)

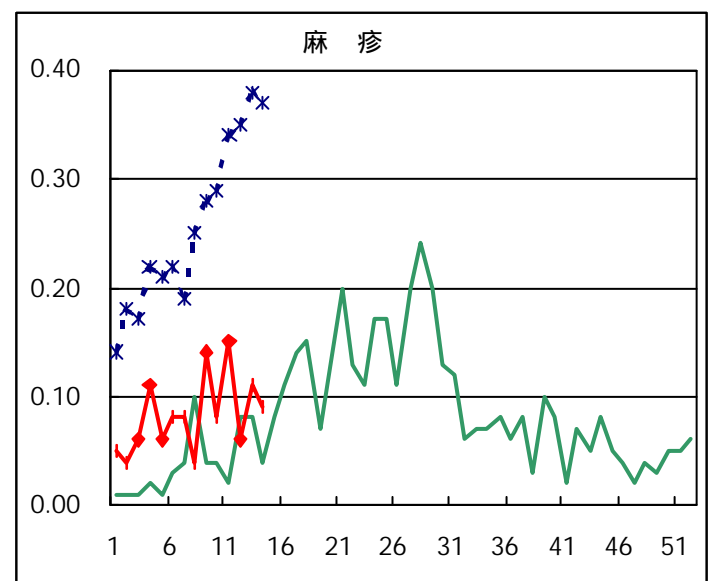
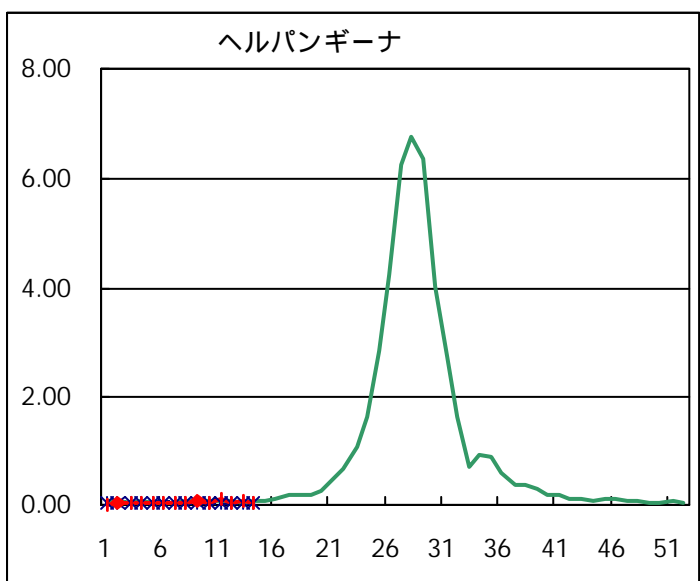
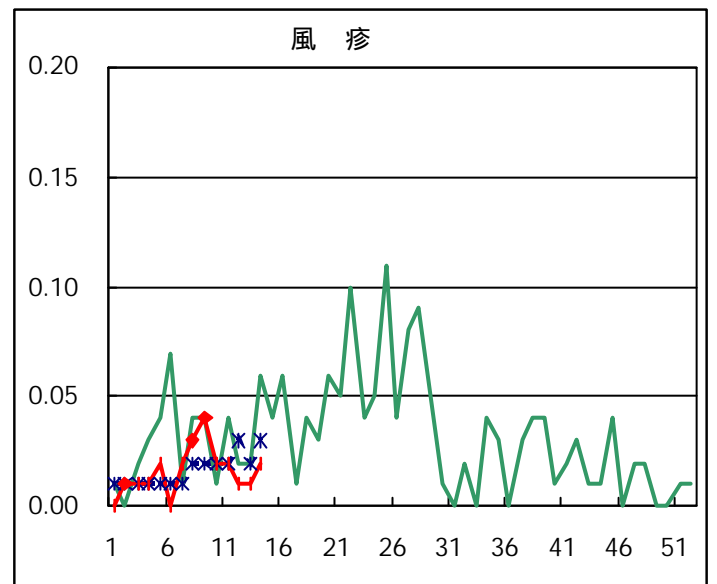
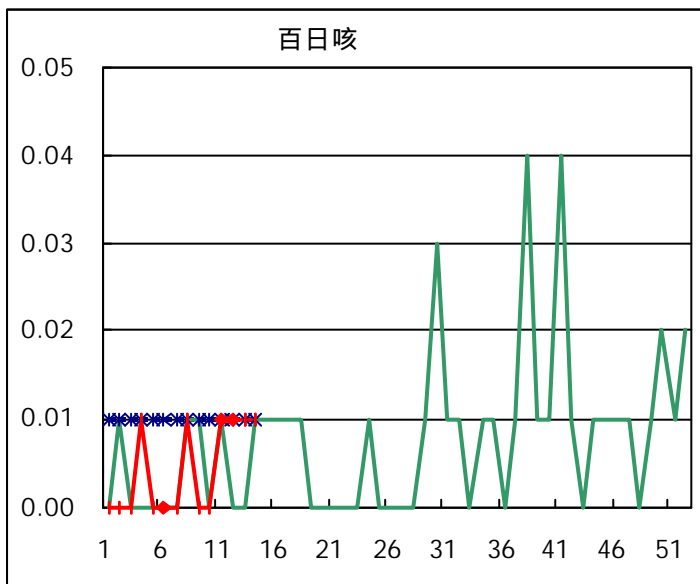
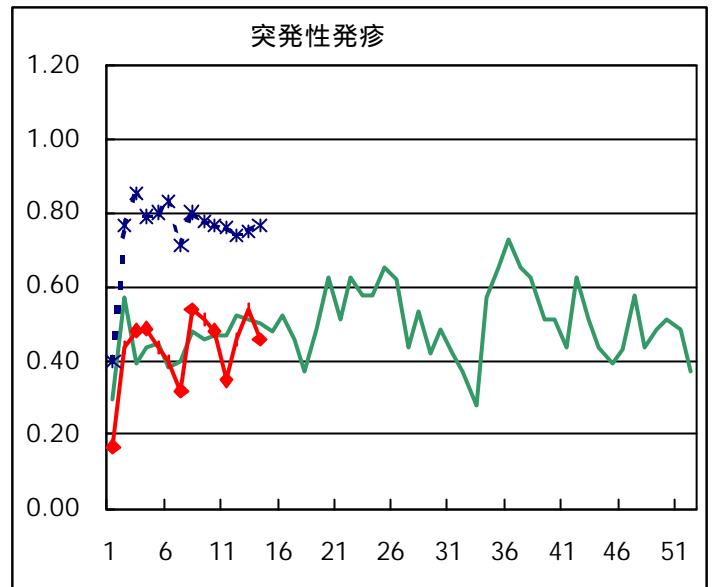
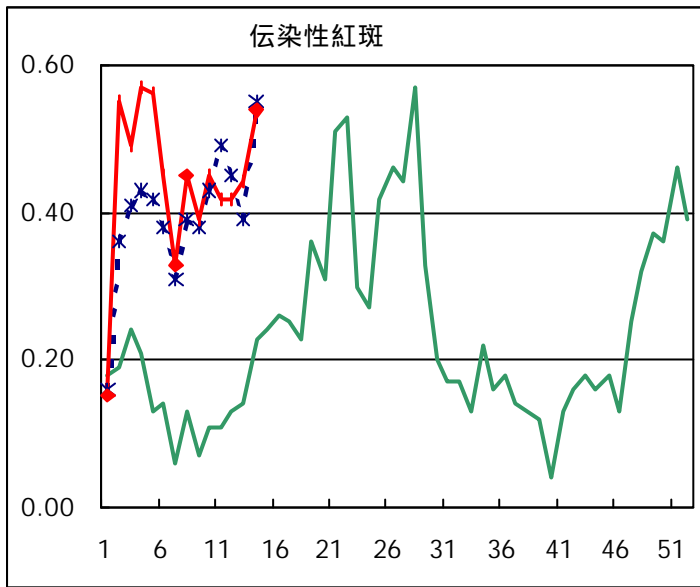
定点報告疾病集計表（男女別）

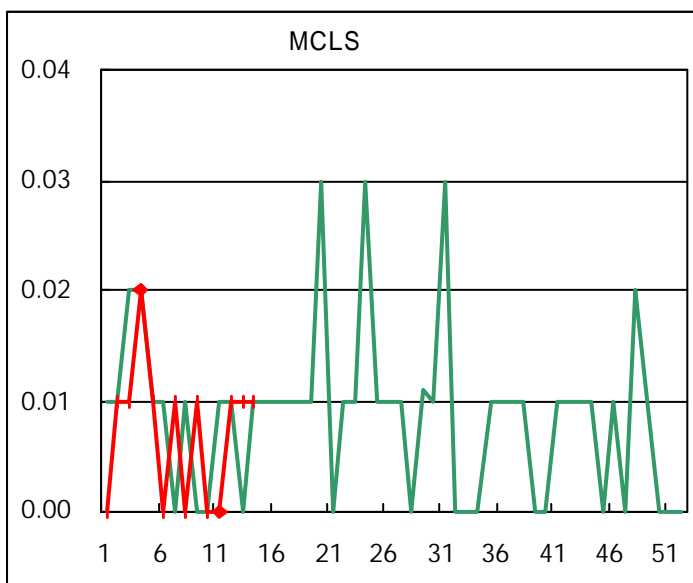
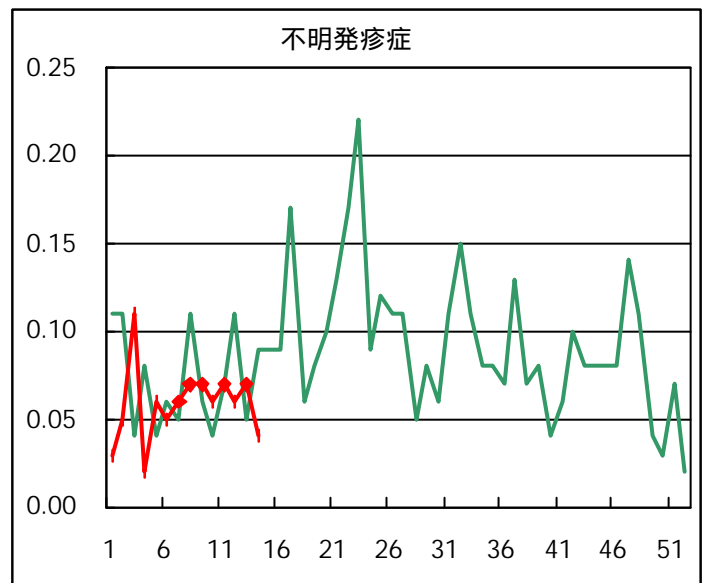
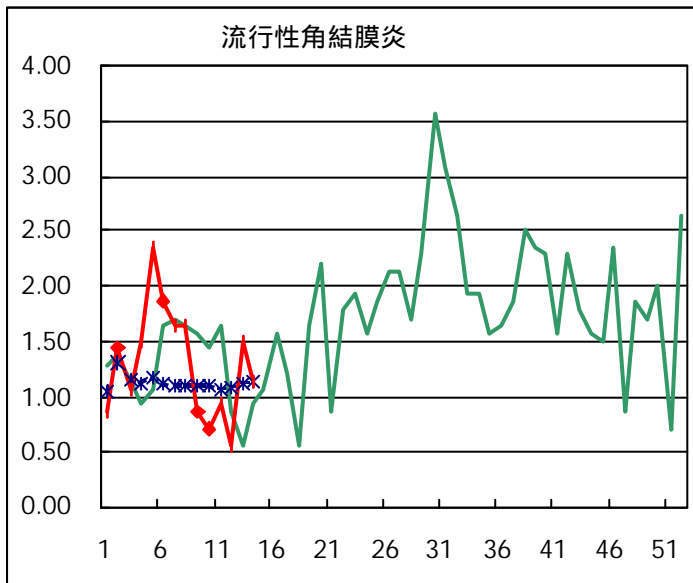
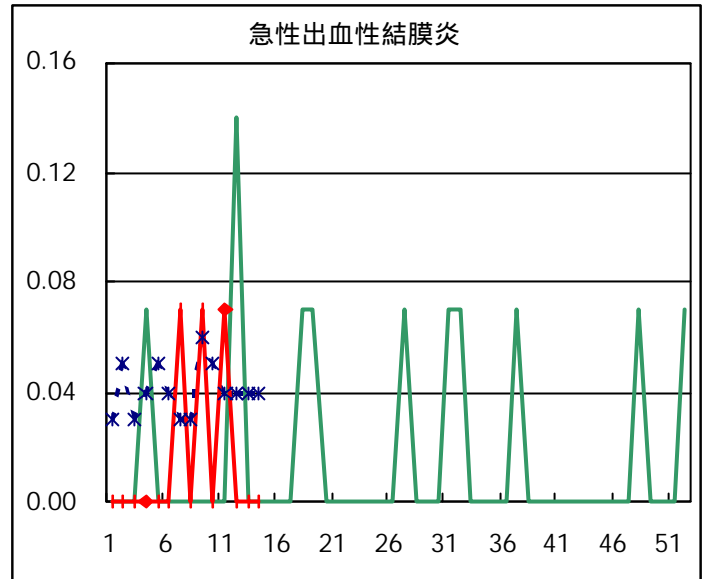
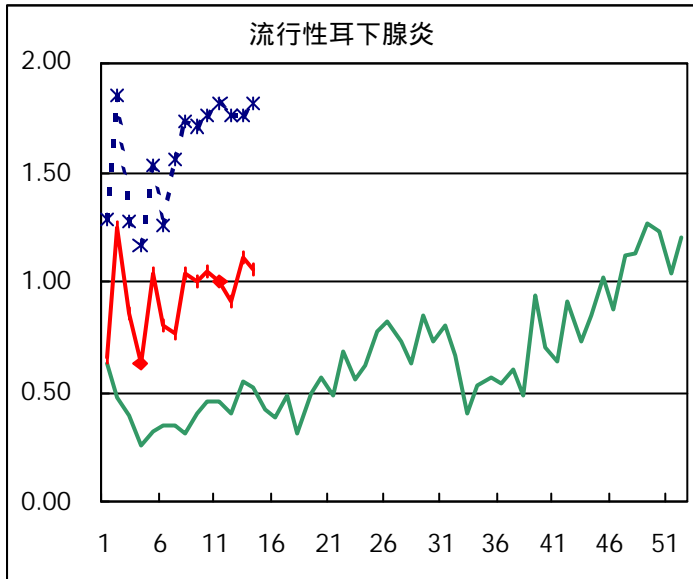
疾病名	性	2001年 週				累計
		11	12	13	14	
インフルエンザ	男	391	343	167	121	1022
	女	429	312	192	125	1058
咽頭結膜熱	男	2	1	1	2	6
	女	2	3	3		8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	30	24	24	16	94
	女	33	29	17	26	105
感染性胃腸炎	男	488	412	284	233	1417
	女	482	374	278	224	1358
水痘	男	86	88	82	91	347
	女	91	83	80	96	350
手足口病	男	2	4	1	4	11
	女	1	8	1	3	13
伝染性紅斑	男	29	34	26	39	128
	女	31	26	36	37	130
突発性発疹	男	28	42	42	34	146
	女	22	24	35	31	112
百日咳	男	1			1	2
	女		1	1		2
風疹	男	1	1	1	1	4
	女	2	1	1	2	6
ヘルパンギーナ	男	10	3	4	1	18
	女	6	1	7	3	17
麻疹(成人以外)	男	10	3	9	6	28
	女	11	6	7	7	31
流行性耳下腺炎	男	85	68	70	80	303
	女	57	62	87	70	276
不明発疹症	男	4	5	5	2	16
	女	6	3	5	3	17
MCLS	男		1			1
	女			2	2	4
急性出血性結膜炎	男					
	女	1				1
流行性角結膜炎	男	5	4	6	9	24
	女	8	4	15	7	34
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女			1		1
細菌性髄膜炎	男					
	女					
無菌性髄膜炎	男		1			1
	女					
マイコプラズマ肺炎	男					
	女					
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男		2	1		3
	女			3	2	5

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

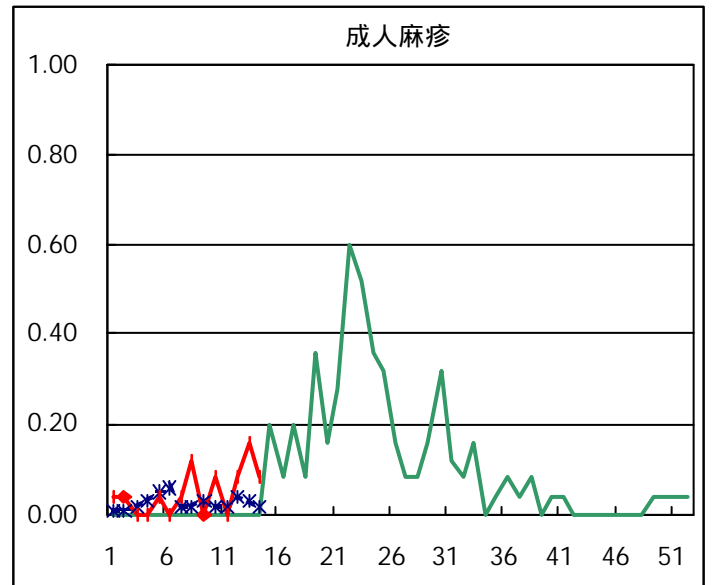
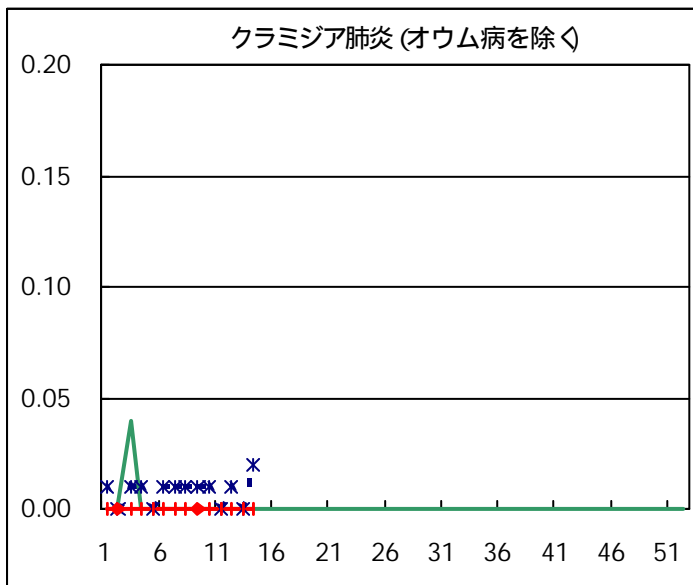
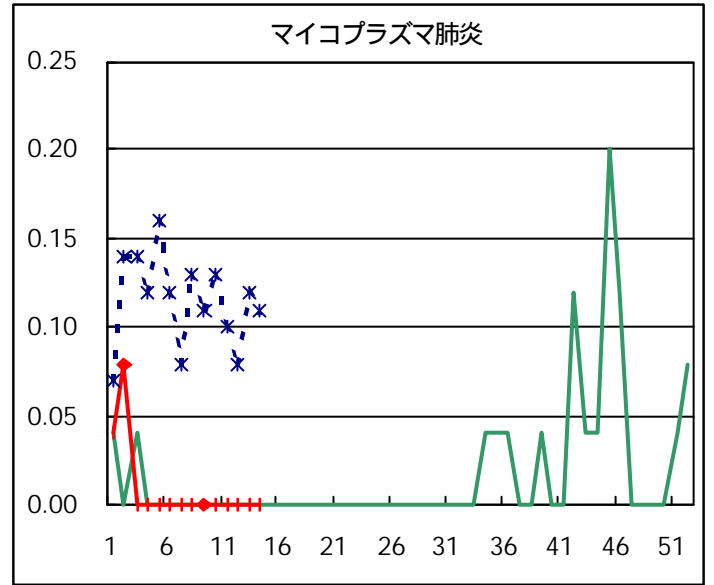
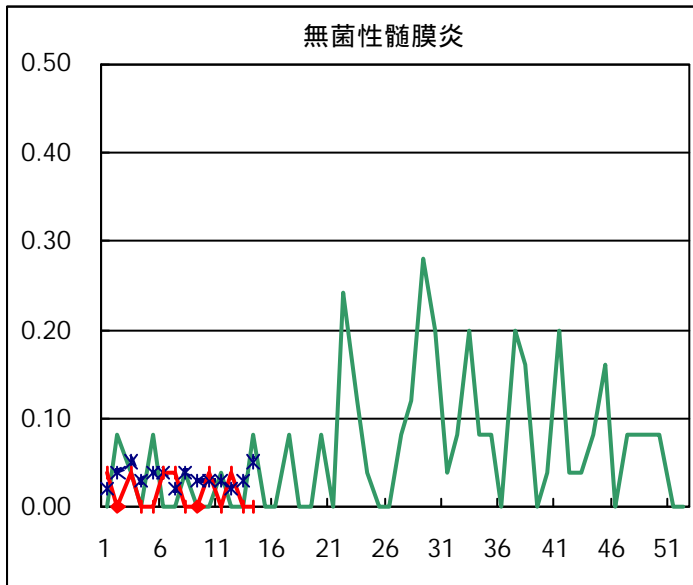
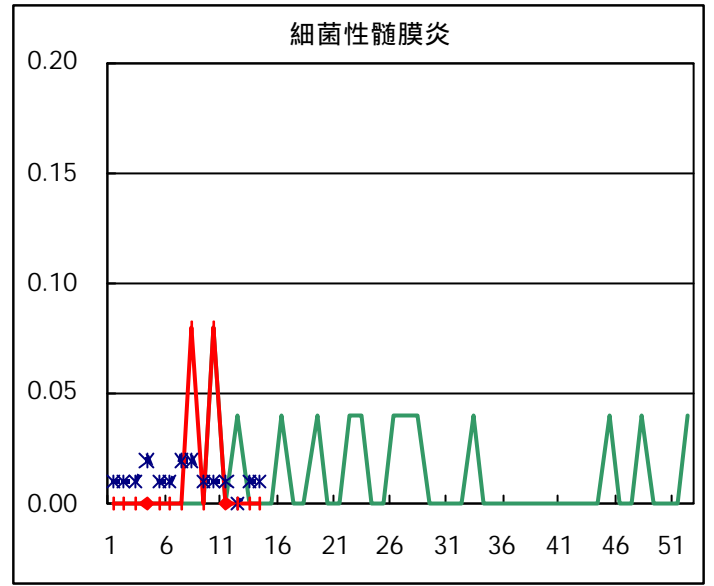
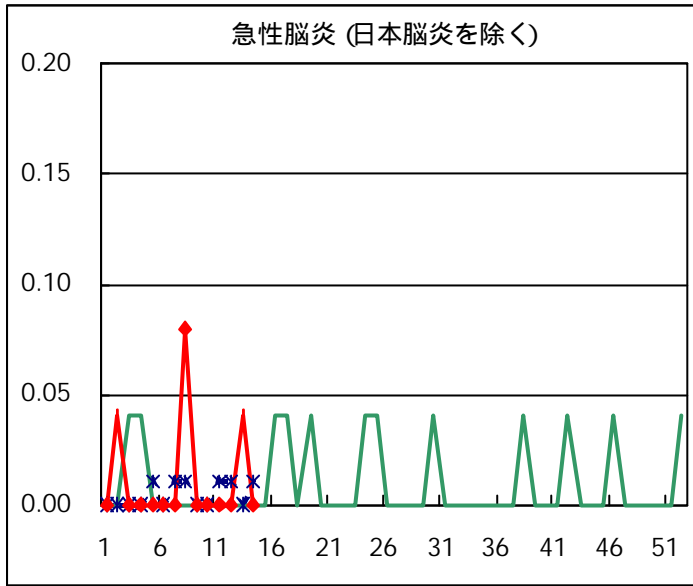
疾病別グラフ







疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	



年齢階級別累計表(2001年 14週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～6ヶ月			1	7	7			12							1		
～1歳	3			29	13		3	35				1					
1歳	18	1	2	54	26	2	4	17		1	1		4				1
2歳	12		2	46	28	1	3				1	2	12				
3歳	21		6	42	27		10				1	1	21				
4歳	15		4	41	25		13			1			22				1
5歳	12		9	38	16	2	8						21				1
6歳	10		9	32	17	1	15			1		1	27				
7歳	5	1	2	15	11		5						19				1
8歳	5		2	18	9		6	1				1	12				
9歳	8			16	2		2						6				
10～14歳	17		3	28	1	1	4		1			7	5				
15～19歳	14			11	1								1				
20～29歳	32		2	80	4		3				1				3	2	1
30～39歳	32														6		
40～49歳	21														2		
50～59歳	8														1		
60～69歳	9														2		
70～79歳	2														1		
80歳以上	2																
合計	246	2	42	457	187	7	76	65	1	3	4	13	150	0	16	5	2
先週比	-113	-2	1	-105	25	5	14	-12	0	1	-7	-3	-7	0	-5	-5	0

注：小児科定点把握対照の疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2001年14週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
中央	2			2	7			1										12
世田谷	9			22	13		4	12					5					65
渋谷区	14		3	17	1								4					39
池袋				2							2		1		1			6
長崎				4	1								3					8
荒川	1			10														11
足立	15			25	6		4						6					56
葛飾	5		4	13	13	2	4	2				1	4					48
江戸川	1			24	5			1					2					33
台東	4		2	15	6		6	2					4					39
目黒区				8	7		2	4					2					23
大田区	4		4	28	7		4	8			1		12		1			69
杉並	2			10	2		2					1	7					24
北区	18		2	9	6	1	4	4					3					47
板橋区	6			10	6	1	5	1					4					33
みなと				1	2								3		1			7
中野区	7		2	35	1		3	1					5					54
新宿区	8	1	1	24	11		2	2		2			9		3			63
品川区	2		2	15	1		5	6	1				8					40
千代田	5			1	4													10
練馬区	25		2	11	7		7	2					7					61
文京	9			8	2		1						1		3			24
墨田区	5			5	4	1	4	1					1					21
江東区	6		5	11	2			2					4		6	2	1	39

保健所別累計表 (2001年14週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
八王子	7		1	2	9							4						23
町田	17		3	24	6			1					2					53
島しょ	2				17	1							15					35
多摩川	9			3	15		2	3					2					34
秋川	13		7	26	6			3				2	8					65
南多摩	3		3	17	1		3				1	1	7					36
多摩立川	4			6	5		2					4	1					22
村山大和	2			3	4		1	4					4		1			19
府中小金井	4			5			1						9					19
狛江調布	1	1		8	2	1		1					1			2		17
三鷹武蔵野	3			10	2		5											20
多摩小平	19			19	4		5	2					5				1	55
多摩東村山	14		1	24	2			2		1			1			1		46

東京都合計	246	2	42	457	187	7	76	65	1	3	4	13	150	-	16	5	2	1276
定点当り報告数	1.38	0.01	0.30	3.22	1.32	0.05	0.54	0.46	0.01	0.02	0.03	0.09	1.06	-	1.14	0.04	0.01	

《感染症トピックス》

破傷風菌について

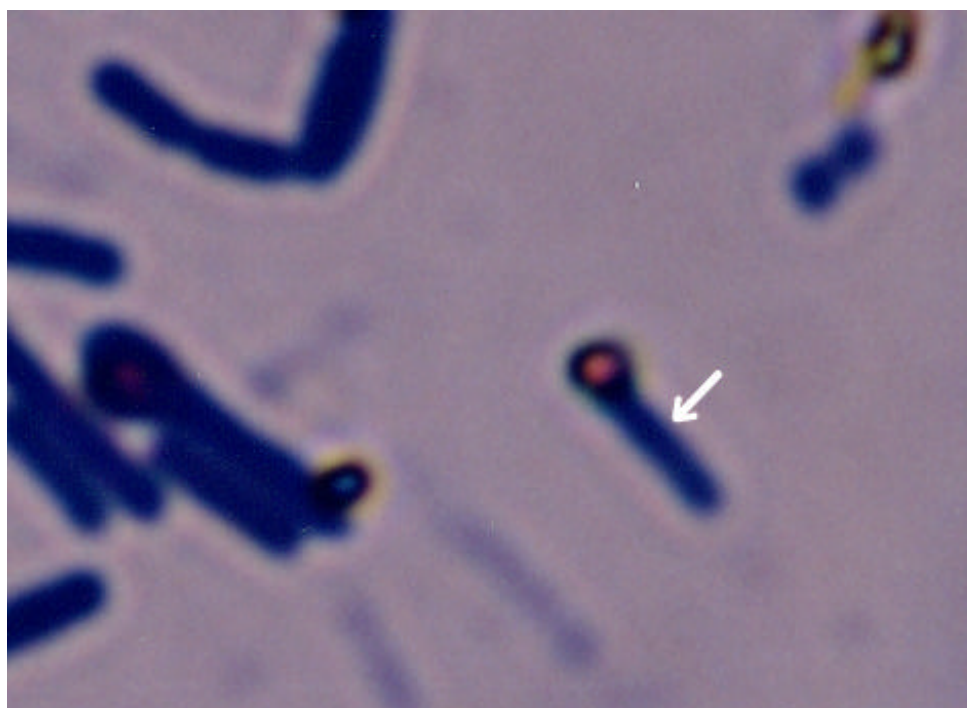
破傷風菌*Clostridium tetani* はグラム陽性の、通常幅0.3-1.0 μm 、長さ4-8 μm 程度の端在性のいわゆる「太鼓ばち状」の芽胞を持った嫌気性桿菌である。主に外傷部より感染し、神経毒tetanospasminを産生する。この毒素が中枢神経系に達し筋の硬直、腱反射亢進、痙攣を伴う特徴ある臨床症状を示す。

平成12年の破傷風の届け出数は全国で90件、東京都では7件の報告があった。しかし東京都分で菌が分離できたのは、1件のみであった。破傷風は臨床診断で決定する 경우가多く、*C. tetani*の分離率は必ずしも高くない。また*C. tetani* のみの感染ではなく他のクロストリジウム菌との混合感染が多い。

C. tetani は特に厳しい嫌気状態を要求する菌で、培養には嫌気ジャーなどを必要とし、血液寒天平板上では独立コロニーを形成せず、膜状に広がる傾向にある。この遊走性はきわめて特徴的なもので、良く注意して観察しないと見逃す程度に微妙に薄いものである。*C. tetani*の培養は血液寒天上の一隅に接種する、変法Fildes法が有効である。約10時間後には接種部位の反対側まで遊走する。発育の先端から継代培養すると、*C. tetani* は他の菌より迅速に遊走するので、発育の周縁では*C. tetani*が純培養で存在し、他のクロストリジウム菌と分離できる。

C. tetani の同定は破傷風毒素と特異抗血清との中和試験が決定的な条件となる。*C. tetani*を培養した液体培地の上清を、マウスのお肢に注射した場合、注射皮下の硬直、痙攣を起こす。この様な上清に過剰の抗毒素を加えてマウスに注射すると、典型的な破傷風症状が中和され、破傷風毒素と同定される。また2組のプライマーペアを用いたPCR法は、GAT1 - GAT2のプライマーセットでは、331bpにバンドが検出され、GAT5 - GAT6のプライマーセットでは、229bpにバンドが検出される。PCR法は、液体培地で他のクロストリジウム菌と混合発育した場合にも、毒素遺伝子が確認でき有用である。

(文責：遠藤美代子)



発生動向総覧（月報告分） 2001年3月分

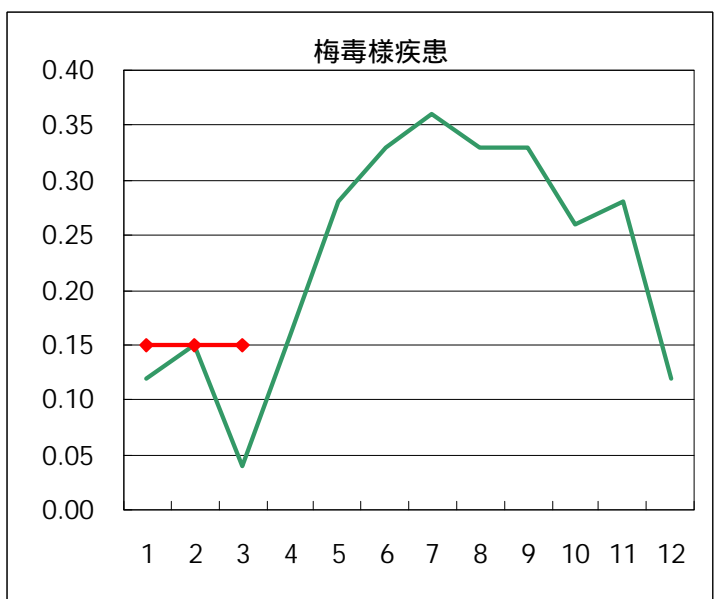
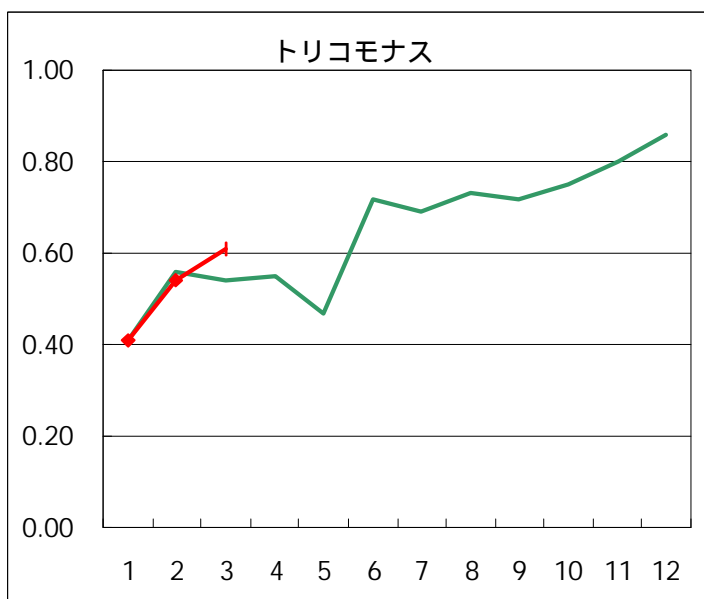
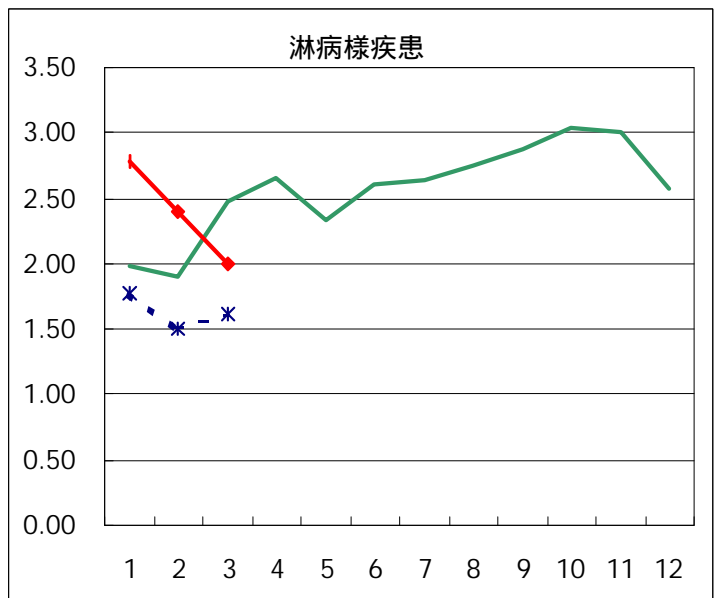
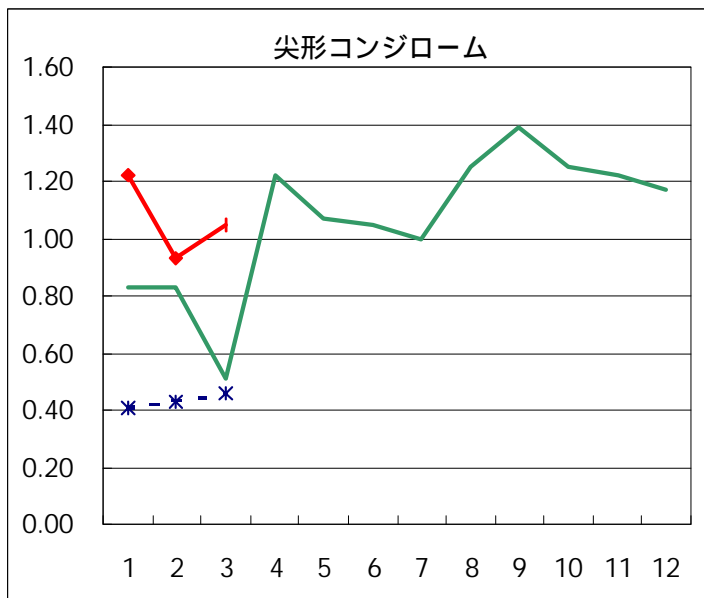
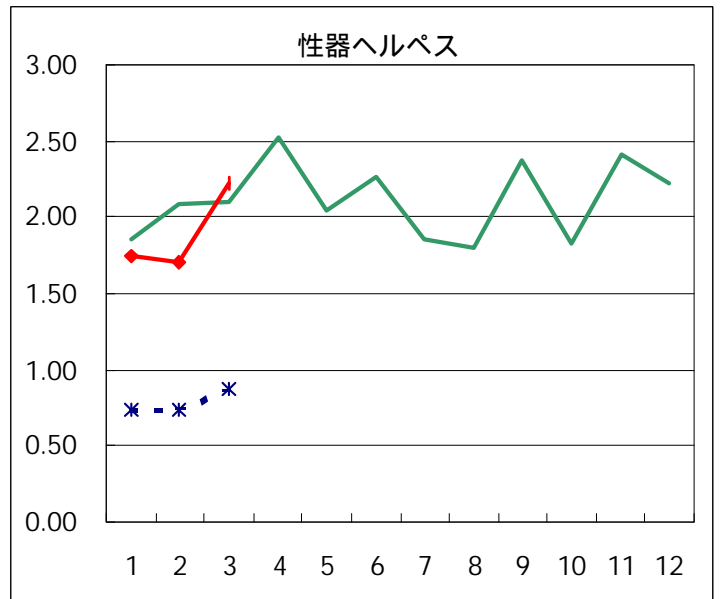
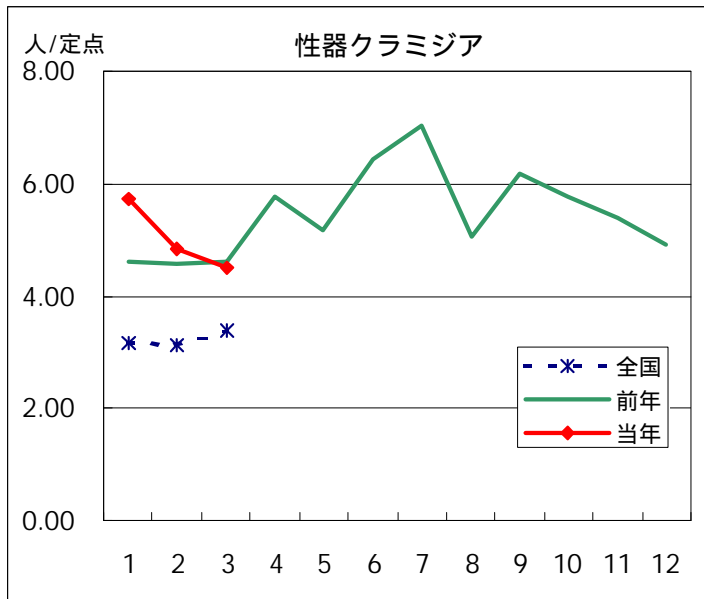
（性感染症）

性器クラミジア、淋病様疾患の報告はいずれも前月に比べて減少したが、性器ヘルペス、尖形コンジローム及びトリコモナスはやや多い傾向にある。

（基幹定点疾病）

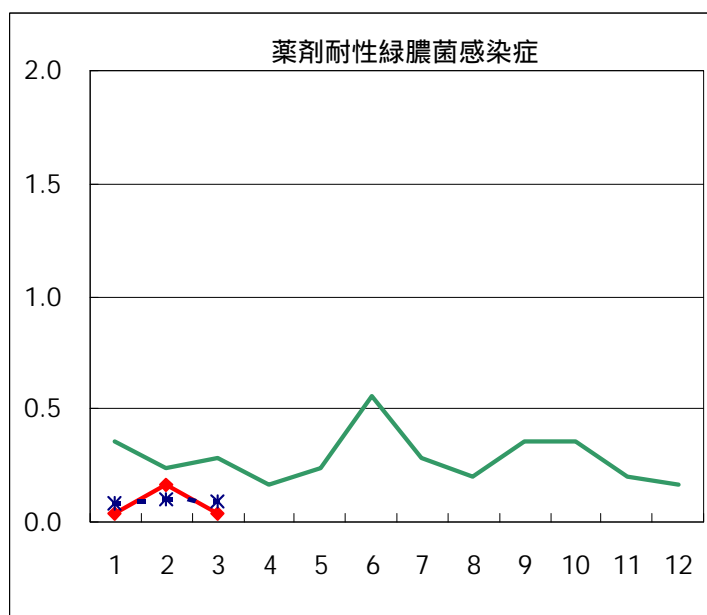
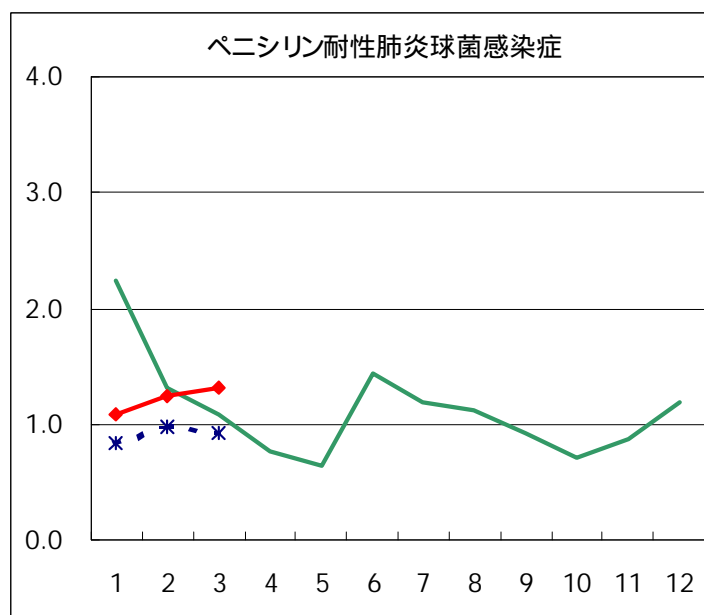
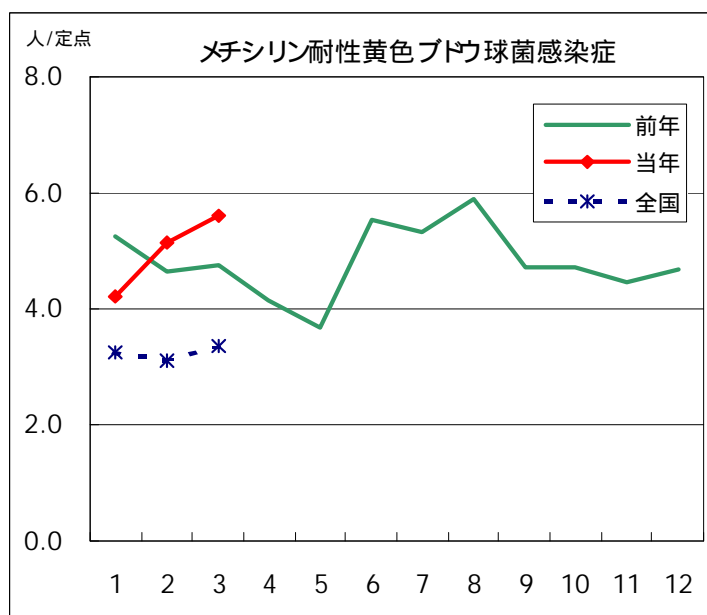
メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告は前月に比べて増加し、また前年と比べてそれほど変わりがない。一方、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告は減少し、前年と比べかなり少なくなっている。

疾病別グラフ



基幹定点報告疾患集計 (2001年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	105	129	140										374
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	27	31	33										91
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	4	1										6



疾病別の定点医療機関数	
疾 病	医療機関数
梅毒	41
淋菌様疾患	
性器クラミジア	
性器ヘルペス	
尖形コンジローム	
トリコモナス	25
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	
薬剤耐性緑膿菌感染症	

S T I 保健所別累計表 (3 月)

男								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	2			2	2		4	8
渋谷区	4			9	1	1	5	16
池袋	3		1	25	6	5	5	42
荒川	1							
足立	1			4	1		4	9
台東	5							
大田区	3				1			1
北区	1					1	2	3
板橋区	2			6		1	1	8
みなと	1	1		6	11	1	3	22
中野区	1			7	1	2		10
新宿区	5			13	5	8	12	38
品川区	1			2				2
文京	1				1			1
墨田区	1			3	1	2	3	9
江東区	2			23	6	2	15	46
八王子	3							
町田	1							
多摩立川	2			4			9	13
三鷹武蔵野	1		1	5	3	2	3	14
総計	41	1	2	109	39	25	66	242
定点当り		0.02	0.05	2.66	0.95	0.61	1.61	5.90

女								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	2			1				1
渋谷区	4							
池袋	3			11	4	3		18
荒川	1			1	1			2
足立	1					1		1
台東	5	17	2	27	27	2	6	81
大田区	3							
北区	1							
板橋区	2							
みなと	1				2			2
中野区	1							
新宿区	5	5	1	18	7	8	2	41
品川区	1							
文京	1							
墨田区	1				2			2
江東区	2	1		4	3	2	2	12
八王子	3	1		5	2			8
町田	1			1	2			3
多摩立川	2			4		2	6	12
三鷹武蔵野	1		1	3	2			6
総計	41	24	4	75	52	18	16	189
定点当り		0.59	0.10	1.83	1.27	0.44	0.39	4.61

STI保健所別定点当り累計表（3月）

男							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	大腸 コンジロー ム	淋病様疾患
中央	2			1.00	1.00		2.00
渋谷区	4			2.25	0.25	0.25	1.25
池袋	3		0.33	8.33	2.00	1.67	1.67
荒川	1						
足立	1			4.00	1.00		4.00
台東	5						
大田区	3				0.33		
北区	1					1.00	2.00
板橋区	2			3.00		0.50	0.50
みなと	1	1.00		6.00	11.00	1.00	3.00
中野区	1			7.00	1.00	2.00	
新宿区	5			2.60	1.00	1.60	2.40
品川区	1			2.00			
文京	1				1.00		
墨田区	1			3.00	1.00	2.00	3.00
江東区	2			11.50	3.00	1.00	7.50
八王子	3						
町田	1						
多摩立川	2			2.00			4.50
三鷹武蔵野	1		1.00	5.00	3.00	2.00	3.00

女							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	大腸 コンジロー ム	淋病様疾患
中央	2			0.50			
渋谷区	4						
池袋	3			3.67	1.33	1.00	
荒川	1			1.00	1.00		
足立	1					1.00	
台東	5	3.40	0.40	5.40	5.40	0.40	1.20
大田区	3						
北区	1						
板橋区	2						
みなと	1				2.00		
中野区	1						
新宿区	5	1.00	0.20	3.60	1.40	1.60	0.40
品川区	1						
文京	1						
墨田区	1				2.00		
江東区	2	0.50		2.00	1.50	1.00	1.00
八王子	3	0.33		1.67	0.67		
町田	1			1.00	2.00		
多摩立川	2			2.00		1.00	3.00
三鷹武蔵野	1		1.00	3.00	2.00		

S T I 年齢階級別累計表 (3 月)

男						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			4		1	2
20～24歳			17	5	8	17
25～29歳		1	29	7	4	15
30～34歳			23	7	7	13
35～39歳	1		9	4	3	8
40～44歳		1	7	5		4
45～49歳			8	5	1	3
50～54歳			5	2	1	3
55～59歳			3	1		
60～64歳			2	1		
65～69歳			2	1		1
70～歳				1		
合計	1	2	109	39	25	66
先月数	0	4	107	25	24	72
増減数	1	-2	2	14	1	-6

女						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			9	2	2	1
20～24歳	6		26	15	8	8
25～29歳			24	17	5	6
30～34歳	4	1	9	5	2	1
35～39歳	6	1	2	7		
40～44歳		1	2	3		
45～49歳	3		2	1	1	
50～54歳	3			2		
55～59歳	1					
60～64歳	1	1				
65～69歳						
70～歳			1			
合計	24	4	75	52	18	16
先月数	22	2	91	45	14	26
増減数	2	2	-16	7	4	-10

2次医療圏別累計表（平成13年3月） 総計 患者報告数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
区中央部	18	2	36	43	3	13	115
区南部			2	1			3
区西南部			9	1	1	5	16
区西部	5	1	38	13	18	14	89
区西北部		1	42	10	10	8	71
区東北部			5	2	1	4	12
区東部	1		30	12	6	20	69
西多摩							
南多摩	1		6	4			11
北多摩西部			8		2	15	25
北多摩南部		2	8	5	2	3	20
北多摩北部							
島しょ							
計	25	6	184	91	43	82	431

2次医療圏別累計表（平成13年3月） 総計 定点当たり発生数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	定点数
区中央部	1.80	0.20	3.60	4.30	0.30	1.30	10
区南部			0.50	0.25			4
区西南部			2.25	0.25	0.25	1.25	4
区西部	0.83	0.17	6.33	2.17	3.00	2.33	6
区西北部		0.17	7.00	1.67	1.67	1.33	6
区東北部			2.50	1.00	0.50	2.00	2
区東部	0.50		15.00	6.00	3.00	10.00	2
西多摩							0
南多摩	0.25		1.50	1.00			4
北多摩西部			4.00		1.00	7.50	2
北多摩南部		2.00	8.00	5.00	2.00	3.00	1
北多摩北部							0
島しょ							0
計	0.61	0.15	4.49	2.22	1.05	2.00	41

ウイルス性胃腸炎

東京都医師会感染症予防検討委員会

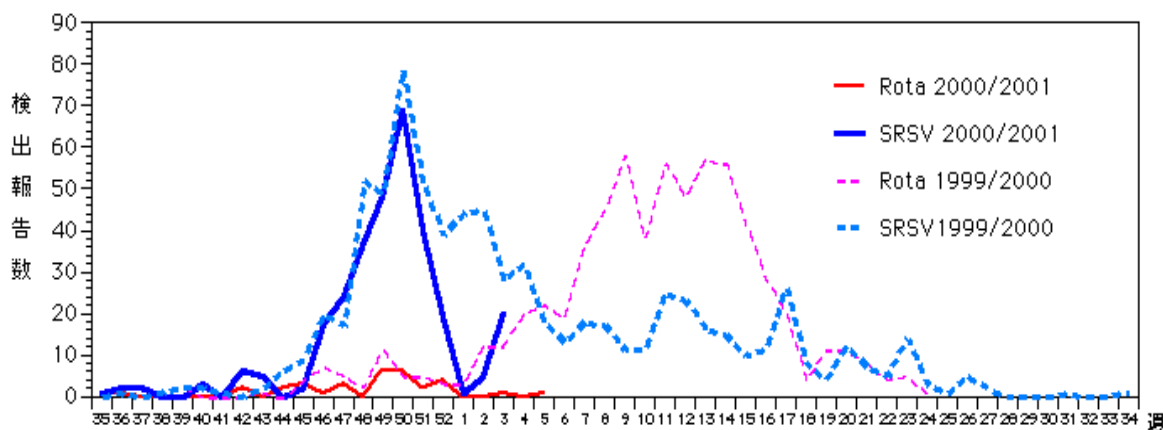
感染性発生動向調査による今冬（2000/2001シーズン）の感染性胃腸炎患者報告数は2000年第45週頃より増加し始め、東京（および全国）の定点当たり報告数は第51週13.0（15.5）となり、年末年始で一旦低下後、2001年第3週現在7.9（9.7）で増加中である。

冬季の感染性胃腸炎患者からは主にロタウイルスと小型球形ウイルス（SRSV）が検出されるが、今シーズン全国の地研から感染研に報告されたロタウイルス検出は31件に対しSRSV検出は265件と大きく上回っている（2001年2月2日現在報告数）（図）。SRSVのうちPCRで検出されたもののほとんどはノーウォーク様ウイルス属（NLV）であり、さらに遺伝子群まで確認をおこなったものではgenogroup が大半を占め、genogroup は少ない。

また、極めて少数であるがサッポロ様ウイルス属（SLV）もPCRで検出されている。

（文責：山下和予）

週別ロタウイルス& SRSVの検出報告数、シーズン別比較（1999/2000、2000/2001）
 （病原微生物検出情報：2001年2月6日現在報告数）



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report